

工業高校等への出前講座と入職後の職業訓練を実施

イメージUP 定着促進 入職促進 人材育成

POINT

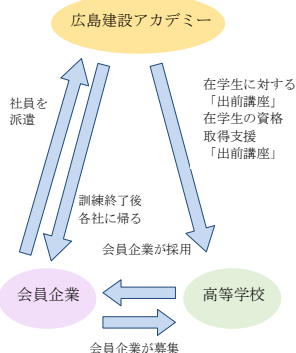
- ▶ 出前講座の実施により、入職後の仕事の内容に関するミスマッチを解消
- ▶ 職業訓練は、実習施設等が無くても地域の建設業者が汗をかく覚悟さえあれば全国どこでも実施可能
- ▶ 定期採用が難しい中小建設業者でも、集合型の職業訓練を実施することにより、入職者が企業の壁を越えた同世代との連帯感を共有、定着率が向上



同じ目的をもった同世代との集中訓練は、強い連帯感を生み、定着率の向上にも寄与する



研修を修了した訓練生は、事務局である福井建設(株)にて修了式が行われる



地域の建設企業、工業高校が連携して取り組む広島建設アカデミーの教育訓練体系

PROFILE

職業訓練法人 広島建設アカデミー

所在地 / 広島県広島市中区舟入南 4-14-15
福井建設(株)内
TEL: 082-235-1877

会員数 / 25 社

URL / <http://fukuikensetu.co.jp/academy/>



福井建設株式会社

所在地 / 広島県広島市中区舟入南 4-14-15
TEL: 082-235-1877

資本金 / 7,300 万円

従業員数 / 80 人

URL / <http://fukuikensetu.co.jp/>

背景と動機

職業訓練法人広島建設アカデミーは、リーダー企業の福井建設(株)が中心となり、地域建設業の発展のため「地元で人材を採用し、地元で育てていくべき」との考えのもと、これに賛同した主に躯体系職種専門工事業者等と設立。

概要と成果

昭和45年から福井建設単独で企業内職業訓練を開始。昭和55年に約8社の参加を得て、複数社が一緒になった職業訓練を実施。昭和58年に職業訓練法人の認可を得て、現在の「職業訓練法人広島建設アカデミー」に至る。個社で行うことが難しい新人社員教育を共同で実施している。また、広島県内の工業高校生を対象に出前講座を実施し、仕事の内容を伝えることにより入職促進やミスマッチの解消を図っている。

出前講座

工業業高校生等を対象に「とび」、「型枠」、「鉄筋」、「左官」の4職種のうち、学校の希望に応じた出前講座等(技能体験)を実施

・H26 年度実績: 8回開催

成果

- ・専門工事業に対する理解が深まり、建設業への入職意欲が向上
- ・工業高校等との連携事業の実施による会員企業への入職強化
- ※H26 年度実績: 会員企業への入職者 17 名中3名が出前講座実施校の卒業生
- ・入社前のイメージと違うことから生じるミスマッチ(離職)の解消

職業訓練

会員企業への新人入職者を対象に集合研修型の社会人としての意識改革や躯体系職種の職業訓練を実施

・H26 年度実績: 4社から 17 名が参加

成果

- ・昭和 55 年の開校から平成 26 年度までに 793 名の修了生を送り出し、その多くが中国地方の建設現場で活躍
- ・職業訓練は、建設基礎知識を習得させることにより、現場に配属された際の戸惑いを軽減するとともに、企業の壁を越えた訓練生間の連帯感(同期生)を共有することにより定着率が向上

【苦勞・工夫した点】費用面で苦勞した。出前講座については、当初、本アカデミーが負担していたが、途中から、広島建設工業協会等の支援を受けるようになり、継続的に実施が可能となった。また、職業訓練の実施は、当初会員企業の持ち寄りだったが、認定職業訓練の認定を受けることで費用の負担が軽減された。カリキュラム等は、労働局の指導や会員企業等の協力により、整備することができた。

認定職業訓練の実施体制

職業訓練の最大の特徴は、専用の訓練施設を保有せず、広島県認定の短期課程の職業訓練を実施(4月~6月上旬)。会員企業の新規卒業者を対象に4月~6月に職業訓練を実施し、限られた予算でも安定的な運営を実現することや訓練生の安全確保を重視した結果、現在のスタイルを確立。

【事務局】申し込みの受付や、助成金申請などの手続きは福井建設が行なう。

【場所】座学は東広島市にある公共の職業訓練センターを借用、実技は福井建設(株)の加工場等を利用。

【指導員】福井建設等に所属する一級技能士などの有資格者。常勤2名が学科・実技を担当、必要に応じ非常勤3名を派遣。訓練用工具類は福井建設が提供。

【教材】使用教材は、「職長教育テキスト」、「建築現場実用語辞典改訂版」、「酸素欠乏症の防止」等

【スケジュール】50日間で392時間に及ぶ短期集中訓練によって、とび、型枠、鉄筋の躯体工事の基礎を教育。4訓練コースが設けられる。

《参考1》広島建設アカデミーのカリキュラム(平成27年度)

コース	科目	内容	時間	合計	
1.建築躯体基礎コース	1	社会	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動	21	210
	2	建築構造	①建築概論 ②生産概論 ③構造概論 ④力学概論 ⑤計画概論 ⑥設備概論	14	
	3	測量	①概論 ②水準測量 ③多角測量 ④墨出作業方法	35	
	4	鉄筋組立作業法	①仕様及び積算 ②施工図 ③鉄筋工作機 ④器具の取扱い方 ⑤加工・組立作業法	49	
	5	足場組立作業法	①種類 ②材料 ③施工図 ④仕様及び積算 ⑤器具の取扱い方 ⑥安全衛生 ⑦関係法規	35	
	6	型枠組立作業法	①種類 ②材料 ③施工図 ④仕様及び積算 ⑤機械操作使用法 ⑥器具の取扱い方 ⑦安全衛生 ⑧関係法規	56	
2.建築躯体工作コース	1	RC 施工安全衛生作業法	①機械操作使用法 ②器具使用法 ③保護具の正しい取扱い ④整理整頓 ⑤仮設(単管足場)工事施工実習 ⑥型枠工事工作・施工実習 ⑦鉄筋工事工作・施工実習 ⑧クレーン等の知識 ⑨玉掛けの方法及び合図の作法	98	98
3.土工基礎コース	1	土工工事作業法	①掘削の方法 ②湧水の処理・排水の方法 ③砂及び岩石の性質 ④酸素欠乏危険作業 ⑤安全衛生 ⑥関係法規	14	28
	2	コンクリート作業法	①種類 ②材料 ③構造 ④コンクリート打設法	14	
4.建築仮設工事施工コース	1	仮設工事一般	①仮設の種類 ②仮設工事の目的 ③仮設材料	3.5	56
	2	仮設工事計画	①計画概論 ②構造力学 ③仮設計画作成	7	
	3	安全関係法規	①安全衛生 ②用具の選定及び取扱い	3.5	
	4	仮設施工実習	①仮設材の種類、選定及び取扱い ②用具の種類及び取扱い ③重量物の運搬作業法 ④枠組足場組立、解体安全作業法	35	
	5	修了試験	①学科試験 ②実技試験	7	
建築基礎躯体工科時間数				392	

《参考2》広域団体認定訓練助成金以外で活用できる助成金(平成27年度予定)

助成金の活用により企業負担を大幅に軽減

広島県認定の職業訓練を実施する広島建設アカデミーは、認定職業訓練助成事業費補助金(運営費)と建設労働者確保育成助成金の経費助成を受給。会員企業はキャリア形成促進助成金と建設労働者確保育成助成金(賃金助成)を受給できる。

これらの助成金の活用により会員企業が負担する訓練費用を23万円/人に軽減するとともに、この他、賃金助成を受けることにより企業が訓練期間中に支払う賃金負担も、大幅に軽減できる。

▶ 広島建設アカデミーが受給する助成金

○認定職業訓練助成事業費補助金(運営費) / 厚生労働省、広島県

受給額 一人当たり 9,200円/単位×10単位×県予算執行状況による減額率

○建設労働者確保育成助成金(経費助成) / 厚生労働省

受給額 一人当たり 1,800円/単位×10単位

▶ 訓練生を派遣した会員企業が申請することにより受給することができる助成金

○キャリア形成促進助成金^{※1} / 厚生労働省

受給額 政策課題対応型訓練(OFF-JT)賃金助成

一人当たり 800円×392時間

○建設労働者確保育成助成金^{※2}(賃金助成) / 厚生労働省

受給額 一人当たり 5,000円×職業訓練実施日数

※1 あらかじめ職業能力開発協会へ職業能力開発推進者の届出を行い、アカデミーでの認定訓練を従業員的能力開発計画に組み入れることが必要である。

※2 キャリア形成促進助成金の受給が条件となる。

現状の課題(現在、取組を実施する上で苦労している課題)

認定職業訓練助成事業費補助金の受給要件は、平成27年度から1訓練コースにつき、短期は1名以上の参加となった。受給しやすいよう受給要件が緩和されたが、訓練に係る費用であっても助成金対象経費でないものがあるので、それらは手当しなければならない。